

天遊

大阪教育大学 広報誌

VOL.7 2007. SPRING

ふれあい育む

《特集》
国際交流





「国際交流」

大阪教育大学には、海外から多くの方が訪れます。

留学生や研究者のほか、海外の教育視察団、研修団の方々も多く訪れ、
 本学を通じて日本の大学教育、教員養成などへの理解を深めています。

また、毎年多くの教員が海外へ赴き、学会での発表や国際会議に於ける講演、現地での研究を行っています。

このほか、国際協力事業への参画や学生の海外留学の推進など、

大阪教育大学は広く海外との国際交流を進めています。



グローバルな大学を目指して
交流協定

大阪教育大学と海外機関・大学との交流協定は、平成7年にタイのラジャバット大学と交流協定を締結してから、この10年余りの間に大きくその数を増やしてきました。平成18年には本学、広島大学教育学部、鳴門教育大学の3大学がコンソーシアムを結成して、アメリカノースカロライナ州3大学コンソーシアムノースカロライナ大学ウィルミントン校、イーストカロライナ大学、ウエスタンカロライナ大学との協定締結や、戦乱後の国家の再建を進める



キャンパスからの交流
外国人留学生

柏原キャンパスでは留学生の姿をよく見かけます。大阪教育大学には、毎年、学部生、大学院生のほか、教員研修留学生、日本語日本文化研修留学生、特別聴講学生（交流協定校からの交換留学生）、研究生として約150名の留学生が在籍しています。

この5年間で中国や韓国を始め、タイ、インド、ベトナム、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランスなどから700名余りの留学生が本学で学びました。留学生センターでは、留学生のために日本語や日本文化に関する授業科目を開講するほか、新入生歓迎バスツアーや一泊の見学旅行なども行い、留学生が日本の歴史や文化を理解する機会を提供しています。

アフガニスタンへの中長期的な教育支援などの協力に向けアフガニスタン・イスラム共和国の教育省教員養成局及びカブール教育大学と協定を締結するなど、新たに6つの海外機関・大学との協定を締結しました。

平成19年2月末現在、22（10ヶ国）の大学や機関と国際交流協定を締結し、研究者や学生の交流、学術資料等の交換、共同研究・講演会・シンポジウム開催など本学の国際化を目指し海外とのより活発な交流を推進していきます。



柏原キャンパスには留学生用の宿舎（定員40名）があり、平成18年10月には、大学による借り受け宿舎（定員9名）を学外（香芝市）に新たに整備しました。共に生活の拠点の場となっています。

留学生は大学で学ぶだけでなく、地域の行事などへの参加や市民対象



の国際理解講座の講師、また地域の学校で総合的な学習の時間や国際理解教育の講師として小中学生と交流を図るなど地域における国際交流にも貢献しています。平成18年11月には地元柏原市との共催により第1回国際交流フェスティバルを開催し、市民との交流を図りました。



地域との交流
国際交流フェスティバル

地元柏原市の外国籍住民や本学留学生・日本人学生と一般市民との交流・ふれあいの場として、大阪教育大学では、平成18年11月、柏原市との共催により第1回国際交流フェスティバルを開催しました。柏原市文化センターを会場に、本学吹奏楽部による吹奏楽演奏のほか、中南米やミャンマーの踊り、中国の琵琶、京劇、ロシアのピアノ演奏、沖縄の踊りなどが披露されました。また中国、韓国、ロシア、タイ、ポーランド、インドネシア、フィリピン、スイスのめずらしい料理やお菓子が紹介され



ました。300人を超える来場者からは、各国の食べ物や文化に触れることができたことと好評で、このフェスティバルの今後に期待する声が多く聞かれました。大阪教育大学では地域における国際交流により貢献していくため、来年度以降もこの催しを継続していくこととしています。



留学へのチャレンジ

海外派遣留学

大阪教育大学では平成8年度より交流協定に基づく交換留学制度を開始し、毎年本学学生を海外の交流協定校へ交換留学生として派遣しています。留学するためには一定の語学力が必要で学内での選考もありますが、年間10～15名程度の学生が海外への留学を果たし、皆多くの収穫を得て帰国しています。交流協定締結校の増加などに伴い平成19年度は海外16の大学への交換留学が可能となっています。また、夏休みや春休みには、短期語学研修プログラムを海外の協定校で実



施しています。平成15年度から平成18年度までに、合わせて約90名の学生がアメリカのノースカロライナ大学ウィルミントン校及びオーストラリアのモナシ大学、グリフィス大学の語学研修に参加しました。

さらに、タイのラジャバット地域総合大学ではタイ語を学びタイの文化に触れるユニークな異文化体験プログラムを実施しており、アジアに興味を持つ学生も増加しています。

平成17年度からは、本学の国際化の進展に対応できる人材を養成するため、協定校であるアメリカの大学へ事務職員を研修生として派遣する事業も始めています。



世界を結ぶ 友好への架け橋

国際協力

大阪教育大学では、本学の特色を活かした国際貢献・協力事業にも取り組んでいます。

20余年に及んだ戦乱で荒廃した国家の再建を進め、教育改革を火急の課題とするアフガニスタン・イスラム共和国への中長期的な教育支援などの実施に向け、昨年11月アフガニスタンの教育省教員養成局及びバフル教育大学と学術及び教育協力に関する交流

協定を締結しました。本学が検討を進めてきた開発途上国における教員養成支援として、今後、現職教員の研修や研究員の受入れなどを行っていく予定にしています。

また、国際協力機構（JICA）大阪国際センターが実施する、大洋州地域 障害者福祉人材育成」事業の研究実施機関として、オセアニア各国から社会福祉、特殊教育分野の行政担当者や教員8名を研修員として受け入れ、日本の障害者支援、児童福祉、特殊教育に関する基本的知識や障害者の就労地域での生活支援についての基本的知識の習得のため、約一ヶ月に渡る研修を実施しました。

大阪教育大学は、日本有数の総合的な教員養成系大学として、海外の数多くの大学との連携・交流をさらに展開し、教育面、研究面の国際化、また国際貢献の分野でも様々な取組みを進めていきたいと考えています。

英語教育とeラーニング

いつでも、どこでも、何度でも

英語教育講座 教授 吉田 晴世
よした はるよ

や教授者の利便性を向上させるために情報や通信技術を活用した学習システムの総称です。

eラーニングの特徴として、「学習者主体」があげられます。時間・空間の制約が少なく、いつでも、どこでも、繰り返し受講でき、自分にとって必要な部分だけを効率的に選択することが可能です。一方、グループダイナミクス、相互啓発が少なく、実践や気付きの学習は難しいと

モニタリングを活性化し、主体的な学習環境を整備することが重要だと捉えています。

具体的には、対面型学習の一部をeラーニングで置き換える(代替)、対面型学習の効果をeラーニングで高める(補充)といった活用法があげられます。英語教育にこれらをあてはめてみますと、では、対面で英語

では集中力ととりわけ飽くなき繰り返しが必要です。一朝一夕には成就しません。携帯電話を語学学習に利用するという方法も進められてきていますが身体の一部のように毎日触れて集中していることが、しいては潜在学習につながる、高い定着力を有する効果的な学習方法に帰結するという構図に疑問の余地はありません。

eラーニングという言葉からどんな

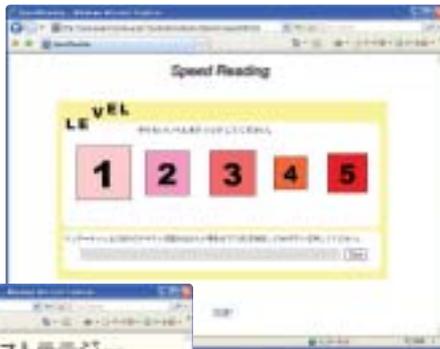
ことを思い浮かべますか。コンピュータ、インターネット、テレビ会議などデジタルなものイメージされるのではないのでしょうか。eラーニングのeとはelectronic(電子的)に利用されるメディアの(の)頭文字eをとったものだと言われて

考えられます。

そこで、「対面型学習とeラーニングをどう使いこなすか」がテーマとなりますが、この「使いこなす」を考慮した学習方法を、ブレンドドラーニングと称しています。対面での授業と、授業外でのインターネット活用を組み合わせ、学習を計画的に設計し、授業でのコ

ング教材で補います。

では、個々の能力に応じたレベルの教材を教師と相談しながら選択し、授業外で自己のペースで十分な練習に充てます。語学の習得におい



暮らしの「場」の秩序を読む ——農山漁村のフィールドワークから

社会文化講座 助教授 今里 悟之

日本の農山漁村の人々は、集落・田畑・野山・海川といった暮らしの舞台を、自らの感性や考え方にもとづいて、緻密に秩序立ててきました。むらの真ん中の高台に神社を築いて大切に守る、村はずれには魑魅魍魎から人々を守るお地蔵様を置く、田んぼの一枚一枚にまで細かく名前をつける、漁船の上で感じる潮や風を方角別に見分ける…。

も理由があります。これらは日々の生活の中で練り上げられてきた、いわば、空間的な秩序づけです。ちょうど私たちが部屋を飾る場合に、日の当たる窓辺で心尽くしの草花を育て、入口の脇には招き猫を置く、といったことにも似ています。



京都府伊根町新井にて

これらは、普通の地図にはまず載ることのない、しかし確かな暮らしの知恵です。お祭りの神輿がなぜそのルートを通るのか、お墓に向かう葬列がなぜそこを通ってはいけないのか、それに

暮らしの「場」の秩序は、家どうしの付き合いの中にもみられます。神事の座順が家の格によって厳しく決められている、むらの自治会費の金額に家ごとに差がついている、お寺の中で位牌が並ぶ順番も家の古い順である、といったことです。これらは、外の者にはすぐにはわからない地元のルールにもとづく、「社会的な秩序づけ」です。ちょうど飲み会で、私のような若輩は端の席がなんとなく落ち着くし、飲み代もほどほどで勘弁してもらおう、といったことと同じですね。

を学ぶためには、時には民家を借りて住み込み、古老の話を聞き、祭りを見学し、そしてお酒も美味しくいただきませう。お祭りでは、太鼓や笛の華やかな音色に乗った若者の勇壮な演舞に魅せられ、身体の芯から震えるような感動に出会うこともあります。精一杯に着飾った娘たちはきつと意中の若者の



丹後半島新井集落の例祭・太刀振り

舞いを見つめながら、心をときめかせたのだろうか。と。

むらの人々の知恵は、現代社会からは徐々に失われつつありますが、決して無用の遺物ではありません。暮らしの場の秩序づけ方に、国や時代を超えた普遍的なパターンを見出すこと、同時に日本の農山漁村ならではの特性を明らかにすること、それが日本文化論、ひいては人類一般の文化論にもつながるかもしれません。一生をかけても辿り着けるかどうかかわからない、地理学者としての私の遙かな目標です。



『Village Japan』の英文輪読授業

専攻共通科目 作曲理論Ⅰ・Ⅱ 「ハーモニーの美しさを知る」



作曲理論 ・ では、一般にいわれる西洋音楽の三要素「メロディ・リズム・ハーモニー」の一つであるハーモニーについて学びます。ハーモニーは「調和」を意味す

る言葉ですが、音楽では和音(コード)をいかに連結・進行させれば美しい響きや流れが得られるのかを研究するもので、西洋音楽理論の柱でもあります。

私達が日常耳にしている音楽の多くは、この授業で扱うハーモニー理論が基になっていると言えますよ。

授業内容はまず作曲理論 が基礎編で、和音の構成や機能的な連結法、そしてカデンツと呼ばれる、丁度文章でいう句読点の役割を音で表現する方法を学び、作曲理論 は応用編として、より多様な和音を扱い、彩り豊かな音楽の表現法を学びながら、楽曲に近づいていきます。

実際の授業は、単元毎に講義・実習を行う

形で進めています。この実習は、四声体(例えば混声合唱のソプラノ・アルト・テノール・バス)という伝統的な書式による筆記スタイルで行います。これらが単に紙の上での音符の操作だけに終わってしまわないよう、ピアノで演奏したり、CDを聴いたり、常に耳からのアプローチを心懸け、自然なハーモニー感の習得を目指しています。又、学生達の答えはなるべく授業中に個人添削し、修正点やポイントをアドバイスします。この方法は一人一人の得手不得手を知る上でも有効ですし、何より授業が一方通行にならないよう、学生達とのコミュニケーションの時間としても大いに活用しています。

この授業の受講生の多くは芸術専攻(音楽コース)の学生達で、彼/彼女らには将来の芸術活動の担い手となつて欲しいと切に願っています。作曲家が一つ一つの音符に込めた真摯な思いを、ハーモニーという「美」を通して、少しでも伝えていく事が出来るよう、これからも努力して行きたいと思えます。



芸術講座 助教授 北川 文雄
きたがわ ふみお

附属学校紹介

大阪教育大学附属幼稚園

子ども・保護者・教師の「三輪車」が日々快適に進んでいる幼稚園です。

附属幼稚園 副園長 赤崎 節子

自然とともに

本園は明治25年創立の歴史・文化の伝統ある大阪教育大学唯一の附属幼稚園です。また大阪府内でも唯一の国立大学附属」として様々な役割を担っています。

3・4・5歳児各々に2クラスずつあり、順に「海・川・森・山・星・空」と自然界の名称がクラス名となっています。

園内にはヤギの「ジャム」をはじめ、アヒル、ウサギなど仲間としての動物達そして先人達が給食後に埋めた種が実り様々な果実の生る木々が豊かにあり、自然を大切に生活しています。まさに子どもにとっての楽園です。



歴史の町「平野」とともに

本園は大阪府女子師範学校附属幼稚園として昭和2年に平野の地に移転以来開学の精神を受け継ぎながら今日まで子ども主体の幼稚園として歩んで来ました。移転当時の事をよく知る方との交流を深めながら、平野が催す博物館のひとこ、あそび博物館」として幼稚園を開いたり、歴史ある全興寺、おもろ地」にて昔あ

そびを伝授したりと地域とともに歩みながら、日々保育を積み重ねています。

平野五校園で育つ力を大切に

附属平野は五校種が揃っている全国でも希少な学校です。

幼稚園は集団教育の出発点として幼児同士だけではなく他校種とのかわり育つ力も視野に入れ教育課程を構成しています。

附属養護学校とは柏原キャンパスの農場で高等部の生徒と作物の植え付け・収穫を通して交流しています。

附属平野小学校とは定期的に交流しています。教師同士も定期的に開く研修会や互いに研究協力員になることで教育観を理解し合っています。

・附属平野中・高等学校とは庭が隣接していることもあり、動きを感じ合いながら生活しています。今後も平野が五校園あるからその環境を活かした学びを大切にしたいと考えています。

三輪車各々の輪を大切に

幼稚園は「環境による教育」をおこなうところです。その環境整備には幼稚園教職員だけではなく、保護者が担うことが多々あります。保護者は毎日子どもを送迎した折に、自主的に園内の清掃や、花の水やり、玄関ホールを美しく飾るなど環境を整える手助けをしてください。

「日々丁寧」に子どもとかわる、「子ども」の心身を守り育む」などの保護者と教師の願いが実現するよう、機会を捉えて繰り返し話し合いを重ね、三輪車を走らせていきます。



TOPICS

旭ヶ丘スポーツクラブ(仮称) 設立準備中

大阪教育大学では、地域の方と連携してスポーツの輪を広げ、することを目的に柏原市・柏原市体育協会との協働により、大阪教育大学の施設や学生・教職員を活かした新しい地域総合型スポーツクラブ(旭ヶ丘スポーツクラブ(仮称))の平成20年4月創設に向けて、その準備に取り組んでいます。これまで柏原市、柏原市体育協会と協力して運営委員会を設立、ゲートボール教室やゴルフ教室、スポーツ交流会などを開催しました。

旭ヶ丘スポーツクラブ(仮称)は財団法人日本体育協会の平成18年度総合型地域スポーツクラブ育成推進事業(文部科学省委託事業)の育成指定クラブに認定されています。



総合型地域 スポーツクラブ 育成推進事業とは

国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親むことができる生涯スポーツ社会を実現するため、「総合型地域スポーツクラブ」の育成を支援する事業です。

科学教育センターが 設置されます

「科学機器共同利用センター」が平成19年4月「科学教育センター」として生まれ変わります。

科学機器共同利用センターは、理科中央研究室を前身として平成9年に設置したセンターで、学内での役割のほか、地元柏原市等との産学連携や小中高校生を対象とする理科実験体験講座、学校教員を対象とする機器利用講習会など地域への貢献活動を実施してきました。

このような活動を発展的に継承しながら、近年の深刻な「理科ばなれ」の状況に積極的に対応していくため、新たな科学教育センターでは、十分な知識と素養をもって科学技術教育を担当できる教員の育成、現職教員の再教育のための各種の教育プログラムや研修プログラムの開発・実施、地域の学校における科学技術教育の改善・充実のための調査、研究、助言、教材開発、並びに各種事業の企画・実施などを行い、地域の教育現場における科学技術に強い人材育成と科学技術教育の向上と活性化に寄与していきます。

学生の熱い思いを実現させる 「学生チャレンジプロジェクト」を開始しました

学生の自主的、創造的な活動を支援するため、学生自身が企画・運営する大学の教育・研究や地域・社会貢献に寄与するプロジェクトに対し、大学が援助を行う「学生チャレンジプロジェクト」を新たに開始しました。

学生たちからの応募を受け、初年度は4つのプロジェクトを採択しました。



おとなのためのおもしろやさしい科学館

Peco presents オガタ通り de クリスマス会

コミュニケーションカセミナー

大阪教育大学体育会柏原市地域交流プロジェクト

プロジェクトの終了後、学生からの報告書の主要部分をホームページで公開します。

学校教育法の改正に伴い、 教育課程の名称を平成19年4月より 一部変更します

複数の障害種別に対応した教育を実施することができる特別支援学校制度の創設や小中学校等における特別支援教育の推進等により、障害のある児童生徒等の教育の一層の充実を図るため、学校教育法が一部改正されました。

大阪教育大学では、以下のとおり教育課程の名称を一部改め、法改正の趣旨に沿った教育を実施していきます。

教育学部 障害児教育教員養成課程
特別支援教育教員養成課程

大学院 障害児教育専攻
特別支援教育専攻

専攻科 特殊教育特別専攻科
特別支援教育特別専攻科

2ヶ月間の海外研修—相手を理解する努力や情熱—

にしむら けいこ
教務課 西村 慶子

私は2006年の8月から2ヶ月間、アメリカのノースカロライナ大学ウィルミントン校に海外研修に行きました。毎日が驚きと感動の連続でしたが、その中で印象に残った出来事をご紹介しますと思います。

海外研修も後半の頃、アフガニスタン、タイ、韓国のクラスメイトと私の4人で夢を語り合ったことがありました。タイ出身のクラスメイトが「私の夢は僧侶になること。アメリカで大学院を卒業して、タイに帰ったらいい仕事に就いて、お金を稼いで、両親を看取ったら、僧侶になるの。」と言いました。そのとき、アフガニスタン出身のクラスメイトが「あなたはなぜアメリカに来ているの？自分のこと、自分の両親のために？！あなたの留学のお金はタイでは莫大なお金のはずよ、あなたの国には貧しい人がたくさんいるのに！どうしてタイの人々のために尽くさないの！」と興奮して言ったのです。彼女の夢は戦乱で荒廃した祖国に学校を作ること。そのためにアメリカに学びにきていたのでした。



留学生の修了パーティにて 別れを惜しむ筆者

私からすれば、どちらの生き方にも尊敬を覚えます。しかし、自分の信念を持っているほど、理解するのが難しいことがあるということを知りました。文化も生まれてきた環境も習慣も違う、そ

の相手を受け入れる、理解する。「異文化理解」、「国際交流」、一言で言えてしまうけれど本当はとても難しく、相手を理解する努力や情熱が必要なことだと感じました。

帰国した数ヶ月後、本学がアフガニスタン・イスラム共和国教育省教員養成局及びカブール教育大学と学術及び教育協力に関する交流協定を締結したことを知りました。今後も様々な国から学生を受け入れたり、交流を持ったりする機会も増えるでしょうし、また日本の中でも様々な立場の人々と大学は理解し合ってい

なくてはなりません。その上でこの研修で得たことは大切なことで、今後大学の職務の中でこの研修で得たたくさんの経験を活かしていけたらと思います。



キャンパス散歩

学生ラウンジ(レモン・メロン)

学生が多くの時間を過ごす場所のひとつに、多数の講義室や研究室、実習室などからなる教員養成課程棟・教養学科棟があります。その棟内に、ひととき鮮やかな色彩が目をはきく一角が存在します。そこが学生ラウンジ(レモン・メロン)です。レモンは黄、メロンは緑を基調とする明るい空間で、大きなガラス張りの壁や色鮮やかなスタンドグラスが開放感を感じさせます。

各ラウンジには冷暖房完備の休憩・談話室と自習室の2室があり、休息をとるもの、友人と過ごすもの、勉学に励むもの、様々な学生の姿がそこにあります。学生ラウンジは棟内にあって学生の憩いの場となっています。



学生ラウンジ(レモン・メロン)とは

談話・交流、リフレッシュができるスペースとインターネットが利用でき、落ち着いた勉強ができるスペース。リフレッシュ空間と学習空間を分離した快適な「学びの場」です。学生の要望に応え、平成18年4月に完成しました。

平成19年度公開講座実施予定

主な対象	講座名	実施時期	時間帯	募集人員	開講キャンパス	募集時期
学校教職員等	公衆衛生活動のためのExcel活用術	5/12～6/2	13:30～16:30	36	天王寺	3/19～4/20
	国語の力 人と人をつないでいく言葉と文学	8/3	16:00～19:30	20	天王寺	6/18～7/20
	公衆衛生活動のためのSPSS入門	8/18～9/22	13:30～16:30	36	天王寺	7/2～8/3
	小・中学校教員のためのパソコン教室 Excel編	8/20～8/22	9:30～16:30	32	天王寺	6/11～7/20
一般市民	ドイツ語会話入門A	4/17～7/3	17:45～19:15	10	天王寺	2/26～3/30
	ドイツ語会話入門B	10/9～12/25	17:45～19:15	10	天王寺	8/13～9/14
	ドイツ語会話A 初級から中級へのステップ・アップ(1)	4/17～7/3	19:30～21:00	15	天王寺	2/26～3/30
	ドイツ語会話B 初級から中級へのステップ・アップ(2)	10/9～12/25	19:30～21:00	15	天王寺	8/13～9/14
	中国語 A(初級A)	4/10～7/17	17:45～19:15	10	天王寺	2/19～3/23
	中国語 B(初級B)	10/2～1/22	17:45～19:15	10	天王寺	8/13～9/14
	中国語 A(中級A)	4/10～7/17	19:30～21:00	10	天王寺	2/19～3/23
	中国語 B(中級B)	10/2～1/22	19:30～21:00	10	天王寺	8/13～9/14
	韓国語 A (韓国語会話と韓国文化論A)	4/9～7/9	19:30～21:00	10	天王寺	2/19～3/23
	韓国語 B (韓国語会話と韓国文化論B)	10/1～1/21	19:30～21:00	10	天王寺	8/13～9/14
	タイ語講座A	5/12～7/28	13:00～14:30	20	天王寺	3/12～4/13
	タイ語講座B	5/12～7/28	15:00～18:00	20	天王寺	3/12～4/13
音楽を楽しむ	未定 11月～12月中旬	11:00～15:00	40	天王寺	未定	
市民講座	市民のためのパソコン教室基礎編A	5/12、5/19	9:30～12:00	32	天王寺	3/12～4/13
	市民のためのパソコン教室基礎編B	5/26、6/2	9:30～12:00	32	天王寺	3/26～5/2
一般市民	市民のためのパソコン教室基礎編C	6/9、6/16	9:30～12:00	32	天王寺	4/23～5/25
	市民のためのパソコン教室基礎編D	6/23、6/30	9:30～12:00	32	天王寺	5/7～6/8
	市民のためのパソコン教室番外編	10/6～10/27	9:30～12:00	32	天王寺	8/20～9/21
	書(春)	5/10～7/12	18:30～20:00	12	天王寺	3/19～4/20
	書(秋)	10/4～12/13	18:30～20:00	12	天王寺	8/13～9/14
	書道講座 篆書・基礎2	6/30、7/1	13:00～16:00	20	柏原	5/14～6/15
	書道に親しむ(臨書3)	8/21～9/25	13:00～16:00	20	柏原	7/2～8/3
	美術(陶芸入門)	5/12～1/12	10:30～12:30	20	天王寺	3/12～4/13
	美術(陶芸)	5/12～1/12	13:30～15:30	20	天王寺	3/12～4/13
	美術実技 絵画表現の基礎	7/23～7/27	13:00～16:00	25	柏原	6/4～7/6
高校生等	楽しいジョギング教室	7/7～10/6	17:00～19:00	30	柏原	5/21～6/22
	楽しいダイエット教室	7/13～10/13	9:00～17:00	30	柏原	4/2～6/29
	電子工作を楽しもう	8/1	10:00～16:00	10	天王寺	6/11～7/13
	音楽実技公開講座 ソルフェージュ・トレーニング	7/14～7/15	10:00～12:00	30	柏原	5/28～6/29
	音楽実技公開講座 ピアノを学ぶ人のためのA	7/14	10:00～16:00	20	柏原	5/28～6/29
	音楽実技公開講座 ピアノを学ぶ人のためのB	7/15	10:00～16:00	20	柏原	5/28～6/29
	音楽実技公開講座 声楽を学ぶ人のための	7/14～7/15	10:00～16:00	10	柏原	5/28～6/29
	音楽実技公開講座 管楽器(フルート・トランペット)を学ぶ人のための	7/14～7/15	10:00～16:00	10	柏原	5/28～6/29
	音楽実技公開講座 弦楽器を学ぶ人のための	7/14～7/15	10:00～16:00	10	柏原	5/28～6/29

講習料や実施日程などの詳細は、次のホームページアドレス等で随時お知らせしますので、あらためてご確認ください。<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/> llc/

『天遊』とは

「天遊」は、荘子の言葉から引用されたもので、人間の心の中に自然に備わっている余裕をあらわしています。キャンパス統合移転の記念に旧師範学校以来の同窓会3団体から寄贈された記念碑に銘文として刻まれています。

記念碑の揮毫は、水嶋 昌(山耀) 本学名誉教授によるものです。



本誌にご意見をお寄せください

本誌『天遊』は今後の誌面づくりに皆様のご意見を積極的に取り入れていきたいと考えています。ご感想やご意見、大阪教育大学についてお知りになりたいことなどを聞かせてください。

宛先 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
国立大学法人大阪教育大学企画課
TEL.072-978-3344 FAX.072-978-3225
E-mail kikaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

ホームページ <http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/>

授業公開プログラムを開始



教養学科が開講している教養基礎科目の一部を学生と一緒に受講できる「教養学科授業公開プログラム」が始まります。単位認定は行いませんが、希望により「修了証書」を交付します。

本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをお過ごしください。

前期 開講期間(H19.4.9～H19.7.21)
募集期間(H19.3.12～H19.3.23)

後期 開講期間(H19.10.1～H20.2.2)
募集期間(H19.9.10～H19.9.21)

詳細については、大阪教育大学のホームページでご覧いただけます。

<http://www.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/kokusai/jyukokai.html>